

Council of Road Construction Worker's Unions(C.R.U)

道路建設産業労働組合協議会 〒104-8380 東京都中央区京橋1-19-11 (日本舗道労働組合内) 電話03 (3562) 5857

全事業所第二、第四土曜日一斉休業実現に向けて

合材工場全国一斉閉所運動 スタート

道建労協では、92年から「事業所の第二、第四土曜日の閉所運動」を実施してきました。これは建設産労懇の仲間と協力して、6月と11月の2カ月を強化月間として毎年各企業や関連組織を訪問し、協力要請とポスターの配布をしてきたものです。

各社等のご協力により、徐々にではありますが休日取得日数が向上してきました。ところがここに来て、建設産業を取り巻く環境が厳しかったため、現状への対応策が優先されてか、土休の取得や時短については足踏み状態が続いています。

そこで当協議会では、従来にも増して事業所の第二、第四土曜日の一斉休業運動を展開することとしました。これまでの訪問先である道建労協加盟単組企業や未加盟道路大手各社、関係機関に引き続き協力を依頼するほか、現業と密着している各地のアスファルト合材協会を訪問し閉所の要請をすることとしました。これまで北海道、福岡、広島、香川、徳島、新潟の各県アスファルト合材協会を訪問し、工場の一斉閉所が確立されて

いる地域については導入の経緯や効果をお伺いしてきました。一方未導入の地域は問題点を聞き取りるとともに今後導入されるよう要請をいたしました。

道路建設産業を取り囲む環境はますます厳しさを増す傾向にありますが、今取り組んでいかなければ産業の魅力は薄れ、将来の人材の確保にも関係し、ひいては道路建設産業の発展にも影響を与えることとなります。

このような時こそ運動を絶やさないことが肝要であり、組織の中心となる部門が前向きに取り組む姿勢を示すことも、各地域において自主的かつ継続して押し進める必要があると考えます。

引き続き全国の合材協会を訪問し、協力を要請していきます。さらには道建労協加盟各社の支店や関係組織の支部にも訪問する予定です。組合員の皆様におかれましては、ぜひ「わが地区に来てくれ」との声を聞かせていただきたく、協力をお願いを兼ねて紹介をさせていただきます。道建労協のホームページも開設されましたので(本紙4ページ参照)、ぜひ皆様の声をお寄せください。

議長 丸山祐二



左から道建労協丸山、長野、香川県合材協会西田事務局長、大畑会長

時短推進ポスター (香川県合材協会発行)

建設産労懇 労使セミナー開催される

昨年10月22日(金)に建設産業労働組合懇話会の第一回総会が開催されたことは当機関誌にて報告済みであります。その後としては初の大きな行事として、労使セミナーが6月5日(月)東京都台東区にある池之端文化センターで開催されました。

今回は日本労働研究機構主任研究員の伊藤実氏を講師にお迎えし、「成果主義と雇用延長」をテーマとして講演いただきました。質疑応答を行いました。

講演の内容は多くの企業が取り組んでいる人事制度(成果主義)についてと年金給付年齢の引上げに伴う雇用延長についての問題点や危険性というタイムリーなテーマをわかりやすく解説していただきました。セミナーには建設産労懇メンバーの日本建設産業労働組合協議会や建設連合などのメンバーをはじめ道建労協以外の労働組合のない道路建設業各社からも参加をいただき、また日本道路建設業協会、日本アスファルト合材協会からも出席いただき大変意義あるセミナーとなりました。

講師の伊藤実氏

丸山議長のあいさつ



フリーウェイ

第二の人生を考える

今回語る第二の人生は、一般的に言う所の老後と捉えて頂きたい。若年層には無関心者が多く、御年四十四歳のわたくしもそれほど真剣に考えている訳ではない。昨今、年金の受給年齢の引き上げ決定を機に生涯設計の見直しと呼ばれています。ライフプランセミナー、生活設計セミナーなる講習会が生保、労働組合でよく行われていますが、自分には関係ないと言わず、一度受講してみればいかがかと思えます。できれば三十代、四十代、五十代、定年間近と10年ピッチで見直しを図るとより良いといわれています。大抵が生活をエンジョイする余裕の無い現実的な結果になりますが、自分なりの生涯設計の指標が構築でき、今をどう過ごすかを見つめ直すことが出来ると思えます。話は聞いてみたいがなかなかその機会が持てないという方はファイナンシャルプランナーの資格を持った全労済または生保外交員に相談してみれば対応してくれそうです。個人的な夢は最愛の妻と共に「行く時は一緒に」から「逝く時は一緒に」と言える生涯でありたいと今を大切に生きています。(全大有労働組合 桐生)

各地区で単組交流会開催される

今年も地協の無い地域の単組交流会を5カ所で開催いたしました。北海道、関東、中部、関西においては既に地方協議会が10年以上にわたって活動をしておりますが、その他の地域においては地協組織がないために、単組はもとより道建労協本部とのつながりも、活動が機関誌PAVEにおいて紹介される程度でなかなか伝わりづらいものがあります。そこで、毎年本部が地協の無い地域を訪れ、その地方特有の課題について話し合い、また単組間での情報交換することにより解決へのヒントを探っております。

今回の各地区での交流会において、共通の議題に上げたのが「時短・土休」の問題でしたが、各単組ともこれといった解決策が無いのが実態であり、成功例および労使の取組といった実際の例が紹介されました。共通の認識としては、本人の時短に対する認識が重要であり、今後、支部の役員がどのような取組をすべきであるかが討議されました。

今年以下の日程で、特に単組間の情報交換と時短に絞った話し合いを行いました。

5月22日(月)	九州地区交流会	八仙閣
23日(火)	中国地区交流会	鯉城会館
24日(水)	四国地区交流会	ホテルニューフロンティア
31日(水)	北陸・上信越地区交流会	マルコーイン・新潟
6月2日(金)	東北地区交流会	仙台第2ワシントンホテル

【九州地区交流会】

8単組15名が出席。今回で6回目ということもあり、うちとけた雰囲気の中で会議が進行されました。

まず、各単組の支部における活動が紹介されました。多くの単組で地方労使協議会などの労使での話し合いの場を定期的に設け、前向きに労働環境の改善に取り組んでいる様子が伝わってきました。

【中国地区交流会】

9単組15名の出席。東西に長く、また南北を山脈で分けられ組合員が各地に散らばっているにも拘わらず、各単組とも工夫をこらし積極的に行っているレク活動が紹介されました。

建設省発注の公募型工事における技術者の異動に関する問題も取り上げられました。

【四国地区交流会】

6単組11名の出席。組合活動に対する意識の低下が話し合われ、事業所長が率先して組合活動に参加してもらう、意見の出やすい雰囲気作り等、各単組での取り組んでいる対策が紹介されました。

【北陸・上信越地区交流会】

5単組8名の出席。日頃より業務でのつながりのある方の出席が多く、最初から遠慮なく質問が飛び交う交流会となりました。企業間の制度の違いに対する質問も出され、単組の地方労使協議会に向けての良い情報交換の場となりました。

【東北地区交流会】

8単組14人の出席。組合員の参加意識を高めるための方策、単組の地方労使協議会について話し合われました。各単組とも悩みは共通する部分も多く、有意義な時間となりました。



九州地区交流会



中国地区交流会



四国地区交流会



北陸・上信越地区交流会



東北地区交流会

北海道地区JVオルグ開催！



5月19日(金)旭川市のニューホテル北海において、JVオルグが盛大に開催されました。当日、北海道縦貫自動車道からは、ガイアートクマガイ・東光舗道JV、東亜道路・三共舗道JVおよび大成ロテック・三井道路が、また道央自動車道からは、東京舗装工業・原田建設工業JVおよび大有建設の参加があり、道建労協本部・地方協議会のメンバーと合わせ、総勢20名で活発な意見交換会が行われました。

会議の中では、道建労協の活動紹介を含めたPR、大型高速現場が抱える問題点等について話し合いがもたれ、有意義な会議となりました。

道建労協本部としては、このJVオルグを通し単独有期現場が抱える問題点の抽出を図り、また加盟単組以外の同じ業界で働く方々との交流を深め、道建労協のPRを図る場として今後も継続して開催していきます。

地協のレク活動

関東地協ボーリング大会開催

記念すべきミレニアムの幕開けの余韻もまだ覚めやらぬ1月22日に、関東地協の恒例行事としてすっかり定着した第10回ボーリング大会が田町ハイレーンで行われました。

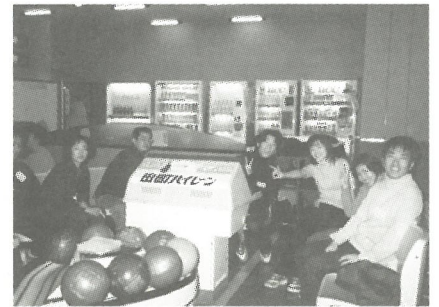
大会には道建労協本部の丸山議長をはじめ、地協10単組76名、建設連合6単組20名の計96名が参加して熱戦が繰り広げられました。ゲーム形式は、各単組2人のペアが他の単組のペアとチームを組み、3ゲームのトータルでスコアを競い合うという方法で行われました。他の単組の方とチームを組むということで最初は慣れないチームもありましたが、ゲームが進むにつれ徐々に和やかな雰囲気になり、気が付けばピンが倒れる度にみんなで一喜一憂して大変な盛り上がりとなりました。

その結果、チーム優勝は「三井道路労働組合の馬上・松本ペア、日本舗道労働組合の山中・斉藤ペア」、個人優勝は、男子は不動建設労働組合の宮田さん、女子は大林道路労働組合の東さんでした。

その後行われた懇親会の中で各単組1組ずつの対抗でカラオケ大会が行われ、各単組が自慢ののどを披露して大いに盛り上がり、優勝は日本舗道労働組合、準優勝は東京舗装工業労働組合となりました。

そのような中で他の単組との交流が図られ、また和気あいあいと行うことができ、大変有意義なものになったと思います。

関東地協幹事 森山 修 (大成ロテック社組)



北海道地協ボーリング大会開催

去る3月10日(金)北海道地協恒例のボーリング大会が札幌はススキノの中心地にあるアオキボウルで行われました。

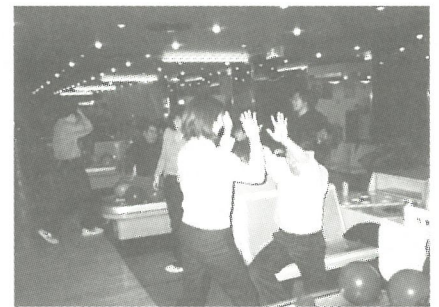
今年の札幌の冬は例年以上に雪が多く、この日も街に雪が降り積もる中、7社15チーム総勢45名が参加し、外の寒さを吹き飛ばすような熱戦を繰り広げました。

そんな中混戦を制したのは、女性2名のハンデをものともせず固いチームワークで栄冠を勝ち取った前田道路Bチームでした。個人部門では男性の部が前田道路B 尾形さん(トータル540点:3ゲーム)、女性の部が大林道路A 中橋さん(トータル466点:3ゲーム)が日頃の実力をいかんなく発揮され優勝されました。また1ゲームのハイスコアも224点(尾形さん)とレベルも非常に高い大会となりました。

大会終了後はすき焼きを囲みながらお互いの健闘をたたえ、めったに会う機会のない他社の人達との親睦を深めました。その後は、三々五々夜のススキノに繰り出したのは言うまでもありません。

なお、北海道地協では年に2回のボーリング大会と1回のソフトボール大会を開催しており、来る6月17日(土)には北見でボーリング大会、7月9日(日)には札幌でソフトボール&ジンギスカン大会を予定しております。この日に向けて参加予定者は日々練習に励んでいることでしょう。

北海道地協幹事 湯浅慎司 (大成ロテック社組)



中部地協恒例の潮干狩り

建設連合愛知との協賛 多数の組合員集合!

今回も大盛況。中部地協の大イベント。建設連合愛知の仲間との合同で564名の参加にて魚のつかみ取り(タイ・ハマチ・アジ・タコ等々総額20万円相当)、アサリ取りバトルが繰り広げられました。前日までの雨で天候を気にしていましたが、日頃の行いが功を奏して当日は晴天。砂浜でのパーベキューを行う煙があちらこちらで立ち上がっていました。参加者の皆さんの笑顔に触れ、事務局冥利に浸っておりましたが、そんな中、単組の仲間と待ち合わせをしたS議長が酔っ払って? 行方不明になりひんしゅくを買うという事件も発生しました。しかし大事には至らず一件落着。貝汁担当のK中執は滴り落ちる汗を隠し味とする絶妙の一品を披露。ここまできたらこのイベントは止められません。遠方からの参加もお待ちしております。ぜひ一度中部地協の行事にご参加下さい。

中部地協 事務局長 久田和人 (全大有労組)



ホームページ開設

こんなのをつくってみました

道建労協のホームページを制作中です

アドレスは<http://www1.ocn.ne.jp/~cru>

みなさんのご意見、ご要望をとりいれながら完成を目指したいと思います。



皆様のご意見をお待ちしています。
メールアドレスは cru@jeans.ocn.ne.jp

※CRUとはCouncil of Road Construction Worker's Unions (道建労協) の略です

物知りクイズ当選者発表

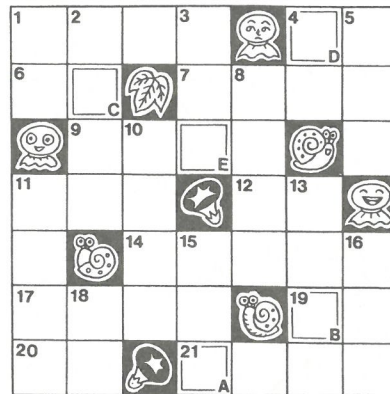
前回のクロスワードパズル(第48号PAVE)の当選者が決定いたしました。50名の応募があり、抽選により以下の15名の方々が当選となりました。当選された方には粗品をお送りいたします。ご応募ありがとうございました。

前回の答え シメカザリ

当選者	高久 尚美	(大林道路職員組合)
	柴田 啓子	(全大有労働組合)
	川畑 国秋	(全大有労働組合)
	大西 竜太	(大成ロテック社員組合)
	三上 憲光	(東亜道路労働組合)
	五十嵐 恵子	(東亜道路労働組合)
	今野 曜子	(東亜道路労働組合)
	金子 仁未	(日本舗道労働組合)
	岡田 朋子	(日本舗道労働組合)
	佐久間美代子	(日本舗道労働組合)
	永倉 信一	(日本舗道労働組合)
	久安 真樹	(前田道路労働組合)
	田中 桂子	(前田道路労働組合)
	鎌田 勝	(前田道路労働組合)
	小山 由季	(三井道路労働組合)

これからも物知りクイズをよろしくお願いたします。

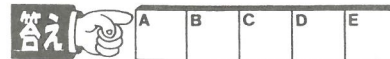
クロスワードパズル



【解き方】カギをヒントにマス目をうめ、次に二重マスに入れた文字をABC...の順に並べてください。それが答えです。

▼ヨコのカギ

- ① 北海道・有珠山ろくの湖
- ④ 食欲を増進させる色は?
- ⑥ ピンチ! ——一髪
- ⑦ 今世紀最後の——五輪
- ⑨ 背骨で、腰の部分の骨
- ⑪ 電池の陰極に用いる金属
- ⑫ アユ解禁、——に行こ
- ⑭ 有名で、すぐれた曲
- ⑰ 一定数に決められた人員
- ⑲ バイ雨のバイの字は?
- ⑳ 二十世紀、長十郎
- ㉑ マーチ、——曲



- 答え
- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|
- ▼タテのカギ
- ① 六月十日は——の記念日
 - ② 「にしき絵」ともいう
 - ③ ひとりだけの専用の部屋
 - ④ 年上の男きょうだい
 - ⑤ 曲線、急——注意
 - ⑧ 室町時代の農民の暴動
 - ⑩ 交響曲第五番ハ短調
 - ⑪ 放送の電波の送受信装置
 - ⑬ 魚をとることが仕事の人
 - ⑮ 鳥。オカメ、セキセイ
 - ⑯ くふうしてお金を用意
 - ⑰ 雨だれ——をうが

〈応募方法〉下記を明記してお送りください。正解者の中から抽選で粗品をお送りします。たくさんのご応募をお待ちしております。

- 回答
 - 賞品送り先住所・氏名および所属単組名
 - 締め切り 8/10
 - 今月の紙面で良かった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。
 - 宛先 〒104-8380 東京都中央区京橋1-19-11 日本舗道労働組合内 道路建設産業労働組合協議会『PAVE』宛 FAX 03-3535-4810
- ※発表は次号(10月発行予定)

編集後記

今年になって少年による事件が世間を驚かしている。事件の多さからみて、彼らは、例外的存在ではないだろう。先進国で、地べたに座り込んでいる若者を見かけるのは、日本ぐらいだという話も聞く。豊かさを享受している現代において、何が不満なのであろうか。

労働組合の組織率が低下し、活動が低迷している。原因はいろいろあろうが、個人にとって切実な要求がなくなり、ほどほどの生活ができる状態にあることが一番大きな原因であろう。しかし個人個人は言いしれぬ不安、不満を抱えて生きている。この大人の社会の姿が若者たちに投影されているのだろう。

労働組合に今、求められるのは、単に経済的成果ではなく、安心、安定して働ける環境を作り上げていくことだろう。そうした努力がよりよい社会を形成し、若者たちに希望を与えていくものと信じたい。

日本舗道労働組合 谷井貞夫